

LOCK WIRE LOCK WIRE LOCK WIRE LOCK WIRE LOCK WIRE

# וְאַתָּה תִּשְׁלַח

シニアルト

○君への手紙「アメリカについて水道課的雜考」

## サンハ・チニアスカウト 技術部 水道課 作成

1972年6月

○君!! 便りのないのはよい便りとは 昔からのいいなつかしさでありますか 生来の不精をいいことに ○君にもすっかりごぶせたしこしまりましたね。このルックワード水道譲シリーズも E ○両君のみでなく F君、大君、M君等 内容を変え 話題を変えて出しそういたいと思ひます。

さて、○君!! 久しく小生も"バイク"というもののから身を引き あとなしくしていったはずなのですが、最近 ○君同様 10000回転の世界を知り ○君の気持ちが、あるいは"D"の気持ちが小生なりに理解出来るようになりました。小生も高さの真 70cc で北海道へ行ったのきっかけに 山陰・九州・四国へ そして自転車で 東北へと旅するこそ無上の喜びとして青春を謳歌してきました。

そして その夜の雑記ノートをめくると 500km/日走ったとか、ガソリン代、食事代、あやつの種類、両親へ送った手紙の内容など 実に細めに記録してあるのです。そして、みんな数々の異・出が 今となっては 実になつかしいものとなって 小生自身に オーバーラップしてきます。バイクといふ物によって 実に多くの異・出を作り得たとともに行動出来たことをうれしく思えるのです。ただ単に"スピードへの世界"のみでなく もっと違った意味で バイクが好きであり 愛していった訳です。

さて 今夜は、みんなりくっかかる異・出の 1 ページから 22キロの夏に一人で回ったアメリカについて ○君に語ってみたいくらいます。知識とは、あくまでも体験を通してなされるもの。その

ことを ○君自身にもう一度 語りかけてみたくなります。

さて、○君、アメリカとは よくクルマ車位を考えられた国だと言われます。確かにそれは実感としてひびいてきます。クルマとは、よくも悪くも アメリカとアメリカ人の生活の基本的役割りを演じています。よく田舎町なんかで見かける…… う○君と 同年代の女の子がフルサイズのアメ車を運転しつつ 重い物に乗る姿… これなどは 単純にアメリカ人の生活とクルマを表現していると思うのです。クルマを持ったるか、"な"かは生活出来るか、生活出来ないか(極端に言えば) 意味する訳です。まずこうしたスケールの違いを頭に入れて マメリカについて語ってきましょう……

1975 8 25 ロサンゼルス チャーターフライト KAL747  
から下りた小生の持ち物は自転車と小さなバックだった。この時  
から約50日に渡るアメリカ旅行がはじまった訳である。本来 人  
の世話を出来ない小生が、めずらしく "したもんだから" すっか  
り遅くなってしまって エアポートホテルのフロントに着いた時は  
とくに PM 10:00 を過ぎていた。1泊 29.60 ドラム忘れておいた。  
(この夜のみ!! と自分でいきかせつ)  
値段 第一夜はすぎでいた。

日本から(白と赤)のユニホームになり まず自転車を組む。サドルバック1個の軽装備。まずロスヘッリード… 山を越えてサンタモニカへ フリーウェイは全く走れない。カントリー・ロードを登ぶようにして走る。"マックダブル"を胃袋の友としつつ カリ

フオルニア沿岸を サンフランシスコ(S.F)へ向けて北上しはじめる。

Pm 9:30. 2日目の夜も やっとの思いで宿を取る。(モータリストホテル)  
(#1127)

夕の子が、ハイとか、ハイとか声をかけてくねたり ナツツを手渡してくねたり。乗ってりく!?とが食えくに声をかけてくれる。走ってりこたいくうしない。Santa-Barbara の手前。どこ行くの!?

S.F. 急ぐか。ゆっくり。泊ってかかる。OK. 20キのサイクリスト"ランディ"に会う。サイクルショップに勤める彼は、毎日練習で明け暮れる毎日。グリスアップしてくねたり(タダで...) 実に親切。夕方 10マイル離れたところレースがあると云う。早速出場。1周800mを30圈。13才~35才までの約60人。もちろん革レースだけ。真剣そのもの。O君!! 17才の女の子もヘルメットをかぶって走る。そして強!! 女性だからこその理由で出来ないといふことはナニセニスかしい。他人の目を気にするなと全く自由。そして活潑に柄事でも出来るのだ!! (うハワイでも真夏というのに差し2人がオーバーを着込んでいた。彼らが寒いと感じるとかオーバーを着ていても不思議はない。アメリカのある人はアメリカ人の持つ一面だとと思う)

この夜 7人の(男女)共同体に宿を取る。"マリファナ"現代アメリカの一画を見る。キッチンスペースも7人分。確立してあり。個人主義の一画をいやとう相みせつけられた。信はどう思うの...ランディはこう考える。ステープルはこうと... etc

翌日、射撃に行く高慢生三人で峰を上る。頂上でお別れだ。

元気で!! ランディトヨトモ会おう!! OK. グッバイ。また来る。キャニア場、キャンピングカー バックパックファミリー、ヒッチハイカー etc カリフォルニア リゾートゾーンを走る。

ジャスで有名なモニトレーアメリカ 5:00AMからモテルを捲きど全くなし!! Pm 11:30 模には泊まることはなかったこの夜。声をかけてくねたのは高齢婦のみ!! 仕方なくホリスオフィスへ。女警さんはやさしく説きかけてくめた。スリーピングバック持ってる。おしゃべりもここには泊めさせてもらえないわ... 下町のビルのホテルへ行った。

下町の落ち葉ホテル。ここのおかげで一夜をすごす。

バスポートとトラベラーズチェックを腰巻きにしまひ込みながら

AM 6:00 シャワーを浴びて 朝3.50支払い。ホテルを出る。ミッドウェーブの10階-11階で朝食。アメリカのコーヒーをがぶ飲みする。S.F. 近く。S.F. 空港近く。どこ行くの! S.F. で。泊まること3日間NO!! 泊めないほんじもまあ... (内心 ホモかな!?) 2DKのアパート。シャワを浴びてワインを飲む。物理の高材の先生。MRヒリップス。辞書を片手に持つ。アメリカと日本。事。生活。人。etc. ポーチからトの二サイクルレースのことを語り合って etc etc。夜。久しぶりにレストランでの食事。ゆっくりと食べる。満足!! こうやこの8日間。

99かったらあハンバーガーが!! 汗と油とほのりの800km!! そして最後に良き説き相手を見つけたことに素直がった。ああと思はじめこなのと。注。ベットは1つ 何や?と思って?壁面よりゲスト用ベット出現する。一室へ!!

この翌日から AM 7:00 起床。マラソン 4km. シャワーを浴びマップ。

5

とハニーリップと生ジュースを食べ 8:00に学校へ行く MRを送り。  
 31の小生も AM10:00 3.町へ。 Do it yourself さう "sears." で  
 キッチンの店を歩き回る。 約15日間かすき2. MRともお別れ。  
 グレイトハウンドバス "アメリカーザー" の旅がはじまる。 ヨセミテへ  
 (43人乗りトイレ付)  
 あはちもん通り仲よく入りつつ 鮮しいお和となる。 マーセイド・ラ・トマス  
 町の待合室。 メキシコ人の親子。 出かけたにいく息子に 目20札を  
 あやじさんが渡す。 彼は、 それを あくることへ、 貧困と生活を感じ  
 る。(アメリカは、 豊きと貧しさと 何ぞもある国(?)と思った)  
 (貧富の差が大きいという意)  
 ヨセミテパークからの帰路140km. 通りに走る。 最後の一直線  
 60km (う。 行きはバスで 30分程度。 あまりしていい間に通った道)。 電柱。  
 10度単位で数える。 途中の牧場で水をもらう。 2時間ががって走  
 り抜けた。 広い國。 アメリカ!! バスの旅。 ソルトレーサーへ。 本物のホ  
 モ鬼のおやじたつかり。 "10:00に今夜はホテルへ行こう。 ソ  
 ラテンバーへ。 おばのいるヒューストンへ 南部の町 PM11:30!! と、 2度じ  
 ゃら歩けない。 ピクピクしながら 宿ホテルを捜す。 ロックを  
 確認しつつウトウトするのみ!! AM7:00. サイクリルをセットアップ!!  
 ザソリンスタンドのウラで 時間つぶしをして いる自販機のポリスに直  
 さきまつ NASA ROAD NO1 三の夜、 久しぶりに やっくり眠る。  
 翌日、 ダブルトラックで 牧場を走り回る。 極端な必要性を感じる。  
 トランク-なしでは、 とてもこの広大な國を開拓しませまい。  
 ニューオリンズへ たばこをせがむ。 巨人の高橋を横に眼をめぬまま  
 N.O.~ Ohioへ帰る。 奥をじっくりして フィットンD.Cへ

2人ゼリングを食べつつ話します。 ジーンズをはき、 本を読み  
 着替か1人旅。 14才-12才の息子さんから私の帰りを待つて"ここ  
 くれるー それには夫もねとニコニコ笑う。 ワシントンから ター・ホ  
 パワーのグレイルウッドでニューヨークへ 今日 ミュンシェンへ歸  
 る。 う西ドイツの女の子とダベリング…… ミュンシェンにつ  
 づます。 N.Y. 人のはきだめみたいな町。 CYCLEで通り回る。  
 汚ないうどー。 煙けさせた事。 黒人 スラム街 ハーレムという  
 地域 白間は一見にしかず。 NYを後にシカゴ方面への訪  
 問 SUMAC 2.3地帯を消防署の地区でピックアップし PM6:00  
 到着。 久しく会つてない"義"も仕事で忙しく PM8:30帰宅。  
 AM1:30まで。 アメリカの商法。 アメリカ人。 ゲーム etc. 話しがはずし  
 だ。 そしてメキシコの話。 本当に元気いっぽいの右團長だったの  
 に。 今でも信じられない気持ちです。 0君!! 金賞。  
 MR.KCERAに会う。 セブンミースというバスカードのメーカーの社長。  
 0君! アメリカは豊かな国であることは認めさせてもらひます  
 ですが、 それから個人の生活を見つけると つくづく感じます。  
 徒歩の75. モンテカルロに乗り、 70km離れた、 鹿と湖の町 バーリングトン  
 の家へ。 2人の娘さんと奥さんを迎えてくれた。 夕食用の食卓を  
 食事をし、 MRSをつかまえて、 台所で3時間稽古します。 キッチンにつ  
 づく。 俄々の趣味+実益はレタリングで 地下室の仕事場も見せても  
 う。 小生の室に帰り、 久しぶりにバスへ入った。 朝食用の食卓を  
 食事し、 また1時間10分かけて シカゴへ帰る。 豊かさとは何だ? う

シカゴからミシガン湖にさって北上しはじめる。この旅の大義名分たる「コラ社」の訪問が近くあって来たからだ。シエボイゲンまで300kmを2日間かかる。コラ村にコラ社があり、シエボイゲンのホテルでスタッフと待ち合せする。完全な正装でMR・MRS.LANDTがピックアップしてくれた。小生は、ジーンとジヤンパ。彼らは最初がっかりしたけど気楽になつたのか、一流のレストランへ（小生を見て…）重本で112とくねる。彼らはお互い離婚者同士で今はMRSの子。3人ともに計5人で生活していた。312、ミネアポリス、ほとんど、知らなかつた。アメリカの家庭と、アメリカ女性とアメリカにつけたこの短い4日間はMRSと彼女の夫婦から、教えられたようだ。MRが言つてくれた。あんなうちはらしいやうはいなりよ!! 家事と育児と仕事と趣味（演劇）とそのすべてをうまくこなしていふんだよ…確かに、彼女はエキルギッシュでやさしく、アメリカ小生とは、しなにも行動的で心が広いのかと思わせた。

日曜日は、皆でピザをつつき、夜はバーベキュー+Tボーンステーキ。312、旦度酒、翌日はコラ社の見学。MRS春子と会う。この夜、またMR・MRS、と3人でゴルフハウスでPM5:00から食事する。その後、MRSは市街へして芝居のナリ。11:30に見に行く。どうも主役らしい。尼はスーパー・マーケットで店員として働いていた。2人でホテルまで送ってくれた。短い4日間だった。別れぎわ彼女がキスしてくれ、お元気で…また京都で…11の日…グッバイ。本当に来ようかかったと思う。そして何かつくづく感じるものを

持つことが出来て…。『させ』であった。帰路はグレイハウンドソルトレイクまで隣にいた女の子は、3週間前まで自動小銃を（イスラエル人）片手に軍事訓練を受けていたという。その時のことを話してくれた。O君、世界は、やっぱり広いようですね。そして、日本にいる限り、自動小銃もピストルも全く我々の世代には関係ないものであるのです。S.F.空港までMR・Fに送つてやつ。45分で8日間の道程を経て、そしてロス空港へ途中3日間ハワイに11日で戻りしたの。退室とスマッグの日本へ帰つて来たのです。O君!! 50日という短い時ではありました。小生にとってこの旅は色々な体験と知識を与えてくれました。久し振りの日本と「う町」はちょうどゴミ箱をひっくり返したような（建物、道路、橋梁等）何の調和も持たない、混然とした物に囲つて来たのです。そして、さらした物は誰よりも強く自己を表現しようとしますが、人間自体がそういう混乱した環境の中にうすもれ、背景にあり下がつて物が主役になつてゐることに気づくのです。それが、色々な物の形を見つけるとその傾向から、生活のあらゆる面で有形無形の圧迫をうけフラストレートした我々の精神状態をそのまま表現してゐるようにも思えるのです。この旅から帰った直後は、いつもこんなことはかりを考えていた小生だったのですが～ひとたび生活圏になつてしまふと結局、もとどおりになつてしまふ（戻つて）も、人間よりうものでしょうか!? それは、ともかく、O君!! 「基づいていふに、大いに旅出つことによつて視野を広めていくことは、

9

大々にやってみるに価するこだと思うのです。

ええ、その後になって 得た、あるいは、感じたことは、

全く異質のものであることを いいのではないかと思うのです。

これは、あくまで、小生なりのアトリカからの 雑考なの  
です。

次回は、F君へ ヨーロッパにつれて記してみましよう――

では、余り スピードを出し過ぎぬよう---

O君へ

水道課作